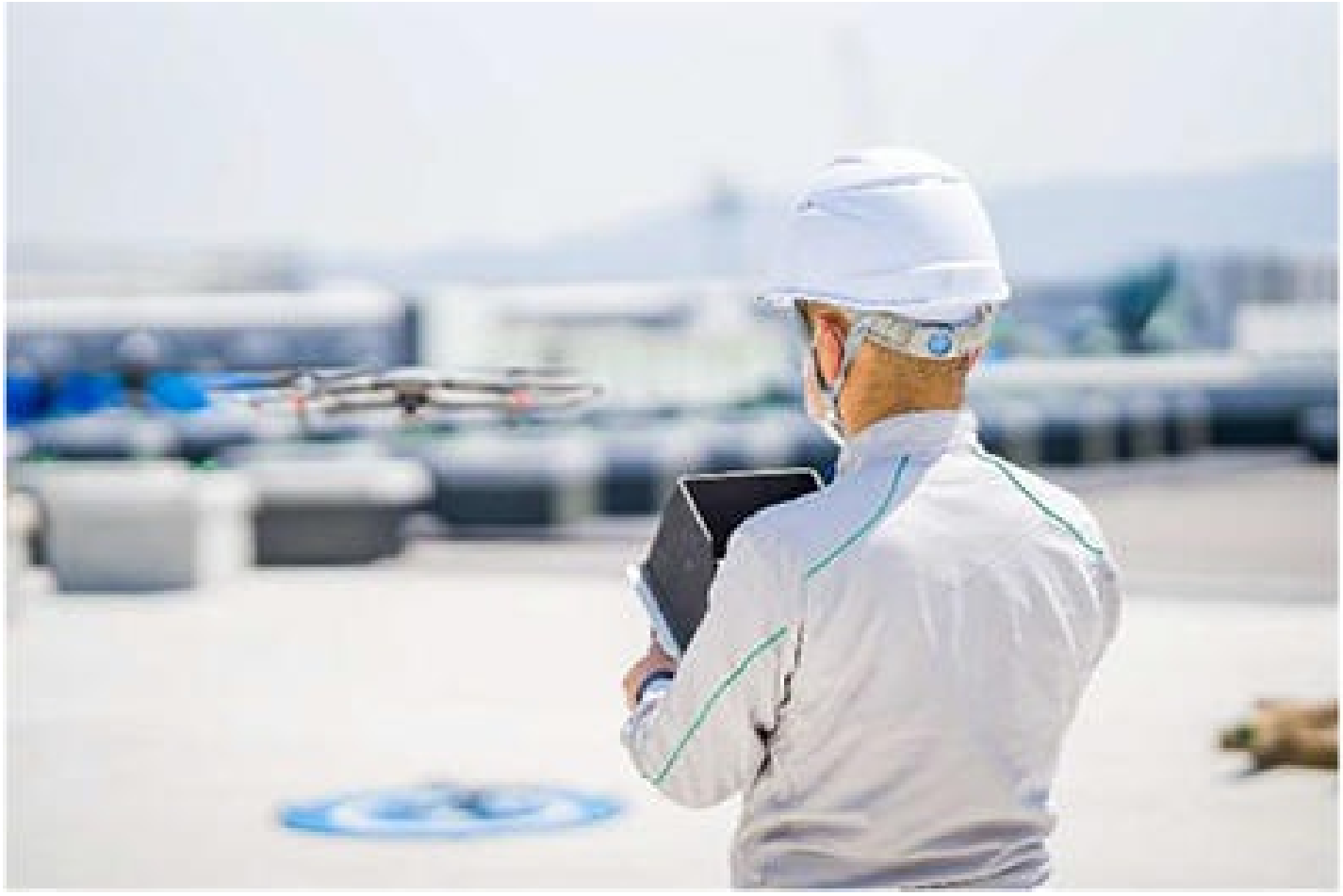


災害発生時の復旧作業計画策定にドローンを積極活用

ドローンの高度な運転技術を保有する３団体と防災協定を締結

大成建設株式会社　　2022年06月08日

大成建設株式会社（社長：相川善郎）は、災害発生時のレジリエンス（復元力）強化の観点から、ドローンの専門的且つ高度な運転技術を保有する３つの団体「一般社団法人DPCA」、「一般社団法人地域再生・防災ドローン利活用推進協会」、「一般社団法人 日本UAV利用促進協議会（JUAVAC）」と災害発生時における防災協定を締結いたしました。本協定締結により、災害復旧現場において、ドローンを活用し、即応的な災害状況の把握と災害復旧計画の立案を実現します。

当社は、これまで国内で発生した大規模地震をはじめとした自然災害において、事業継続計画に基づき、被害を受けた建築物やインフラ等の復旧工事に尽力して参りました。一方、近年発生している国内の自然災害は激甚化しており、これまで以上に迅速な災害状況の把握と災害復旧計画の立案を行うためには、即応性と機動性に優れた技術の活用が必要となります。

そこで、当社は、平時より工事状況の確認やインフラ構造物の点検、建物の３次元モデル化等に活用しているドローンに着目し、災害復旧等の緊急時にも役立てられるよう、全国でドローンの高度な操作技術を保有する上記３つの団体と防災協定を締結することといたしました。

当社は今後も災害時の復旧等にデジタル技術を積極的に活用することで、更なるレジリエンス強化を図り、社会経済活動の基盤を支える総合建設会社としての責務を果たして参ります。



ドローン操作のイメージ



建設現場にて使用されるドローン

各団体の役割

　大成建設の災害要請に基づき被災現場にドローンのオペレーターを派遣し、被災現場のドローン空撮を行う。「一般社団法人DPCA」と「一般社団法人地域再生・防災ドローン利活用推進協会」は土木事業を担当し、橋やダムなどの被災状況を確認する。「一般社団法人 日本UAV利用促進協議会（JUAVAC）」は建築事業を担当し、オフィスや学校などの建築物全体の被災状況を確認する。